2022 年 4 月 2 日

ウクライナ情勢 近況報告
（日本語要約）

概況

ロシア連邦がウクライナに対する軍事行動を開始した 2022 年 2 月 24 日以降、5 週間で、ウクライナの人口の **4 分の 1** が避難を余儀なくされている状況です。現在、**420 万人以上**の難民がウクライナを逃れ隣国に避難しており、第二次世界大戦以来、最も急速に拡大している難民危機となっています。

さらに、ウクライナ国内で国内避難民となっている人数は **650 万人**に上ります。また、治安リスクの高まり、橋や道路の破壊、安全な場所や宿泊施設に関する情報不足のため、被災地に取り残されたり、避難できない人々が**約 1,300 万人**いると推定されています。

ポーランド南東部メディカの国境で抱き合う
ウクライナから逃れてきた親子。

取り残された人々の多くは、食料、水、医薬品などの基本的なニーズを満たすことができません。安全な人道的アクセスが確保されていないため、人命救助のための援助を届けることは依然として困難な状況です。

近日、ウクライナを訪問したフィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官は、戦争の終結を最も強い言葉で訴えるとともに、国際社会に対し、戦闘の影響を受けた何百万人もの市民への継続的な支援を呼びかけました。「私は、同国の政府によるあらゆるレベルでの人道的リーダーシップと対応、そして何百万人もの家を失った同胞を受け入れているウクライナ国民の寛容さと回復力に深く感銘を受けています。」グランディ弁務官は、UNHCR がウクライナの人々のために、近隣諸国や国内に留まり、支援を提供することを改めて表明しました。

私たちは引き続き人道支援チームの一員として、現地当局や、人道的パートナーと協力しながら、救命のための援助を現地で継続し、民間人と民間インフラの保護、国際人道法の尊重、そして近隣諸国が避難してくる人々に対して国境を開放し続けることを求めていきます。

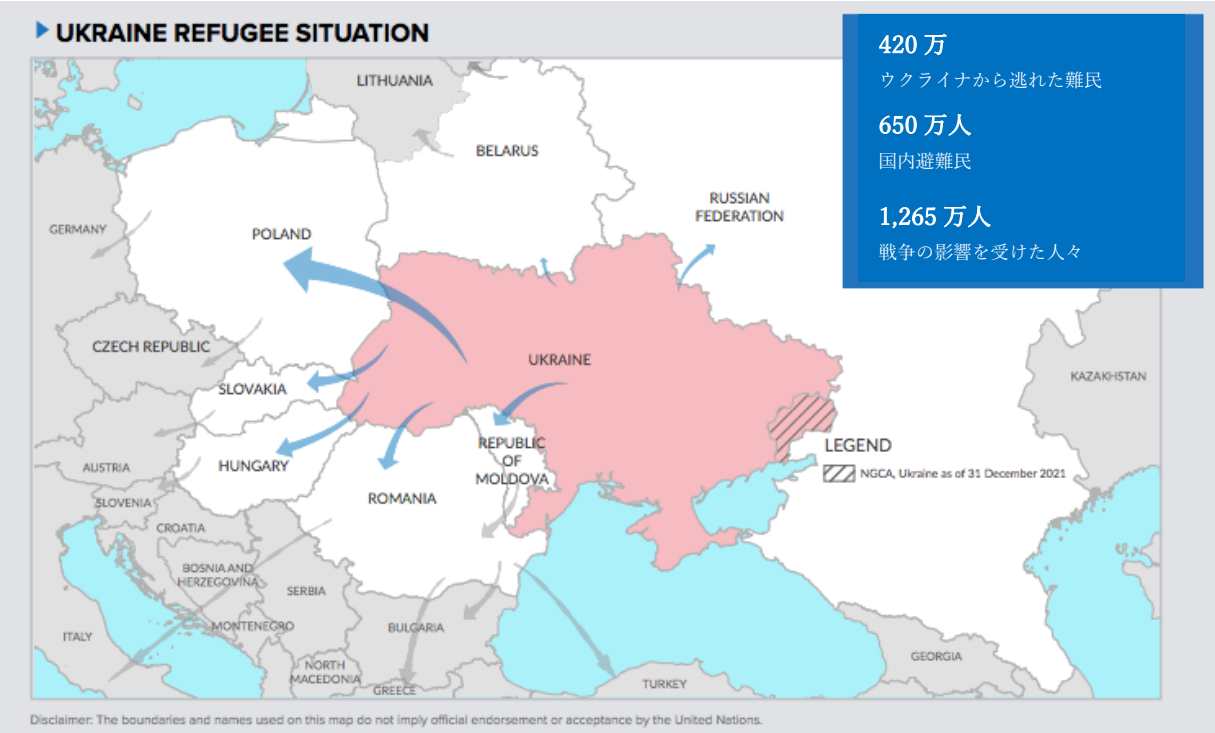
ウクライナにおける UNHCR の支援目標

UNHCR の保護・支援活動の全体的な目標は、軍事行動から逃れてきた人々を直ちに救済することであり、同時に、速いペースでの避難を余儀なくされている人々の状況の安定化を支援することです。

2022 年 4 月 2 日

110 万人に 保護支援・情報を提供	550,000 の 非食料品を提供	200 のレセプション、コレクティブセンターにおいて、 必要不可欠な物品を装備	360,000 人に、 多目的現金支援を提供

ウクライナにおける UNHCR の支援達成状況

- 65,500 人に必要な食料と非食料品を提供。
- 22,500 人に対し、国境通過点、トランジットセンター、レセプションセンターにおいて、またホットラインを通じて保護支援を実施。
- 家屋に被害を受けた 11,862 世帯に緊急シェルター支援を提供。
- 8,913 人が多目的現金支援に登録され、最初の支払いを開始。
- 最も被害の大きかった地域へ 3 回の輸送を行い、8,100 人に対し支援を実施。
- 73 のレセプションセンターと難民が暮らすコレクティブセンターに、必需品を設置し、収容能力を拡大。

また、ウクライナから多くの人が避難している近隣諸国のハンガリー、モルドバ共和国、ポーランド、ルーマニア、スロバキアにおいても、活動を継続しています。現地では、支援が必要な人々に対し、保護や、多目的現金支援、緊急支援物資の提供を実施しています。